五條小学校通信

かけはし

2013年１０月２日

第１１号

みんなで「ちょボラ隊」

（ちょっとボランティア）

ＰＴＡ顧問の吉井さんと徳本先生は同級生です。今の校舎は、２人が５年生の時に建てられました。まばゆいばかりのピカピカの教室に移られたそうです。当時の最先端をいく教育環境が整備され、モダンな校舎でした。そこで、大いに学び、大いに遊んだというなつかしい昔話を聞かせていただいたことがあります。お父さんお母さん方の中にもそのおひとりに数えられる方々がたくさんいらっしゃるのではありませんか。以来、約３０星霜に近い年月が過ぎ、庭のクスノキがこの間の歩みを優しく見守ってくれました。

「白亜の校舎」、五條小学校は、まさにその形容にふさわしい、築３０年とは思えない、若々しさを保っています。それには、連綿と受け継がれた伝統の「おそうじ」を見のがすわけにはいきません。今も玄関のろうかをはいつくばるようにして雑巾がけをしている６年生たちの姿があります。ろうかや階段にある円形状の突起がすり減っているのをご存じですか。ここにも３０年の歴史を感じます。

そんな五條小学校も近年、児童数の著しい減少により、２０５人の子どもたちだけでは追いつかなくなりました。このままでは美しい校舎を維持することがむずかしい。何かいい方法は、と考えて、月に一度、クリーンデーを設け、全員がろうかや階段を一斉に磨く時間がつくられました。

そして、今回は町に出て清掃活動をしようということになり、９月１９日、木曜日の１時間目、雲一つない青空のもとで行われました。６年生の班長を中心に、赤・白・青・黄の４つに分かれて、「新町通り方面」、「大川橋方面」、「五條中学校方面」、「商店街および紀陽銀行方面」のゴミ拾いをしました。五夢りんも新町通りの赤組に同行し、みんなを応援しました。あいにく、気温が上がり、汗びっしょりになりましたが、無事終了。持ち帰ったゴミは、市指定の袋２つ分にもなりました。みなさん本当にご苦労様でした。　次は、明日の社会見学で２回目を行う予定です。

　今日、クリーンキッズかつどうでゴミをひろいました。わたしは、まことちゃんのほうまでいきました。あんまりゴミがなかったです。はっぱとティッシュをひろいました。

　五むりんせんげんの中で、「みのまわりをきれいにします。」というのがあるので、これからもゴミをひろいたいと思います。

　家のしごとも手つだって、お母さんのしごとをへらしたいです。

とったどぉ～！

　今日、クリーンキッズをしました。運動会の色にわかれてしました。わたしは、中学校の近くのゴミをひろいました。行くとき、たくさんゴミがあるのかなあと思いましたがほとんどゴミはなかったです。 けれども、楽しかったです。わたしは、ゴミをひろうと、きれいになるんだなあと思いました。行ってよかったです。

クリーンキッズでゴミひろいをしました。

さいしょは、ちょっとめんどくさかったけれども、やってみたら楽しかつたです。あついことをわすれていました。はじめはあまりなかったけれども、タバコのすいがらをいっぱいみつけました。だれが道にすてるんだろうと思いました。また、やりたいと思いました。

校門を出て、歩いていると葉っぱ以外、あんまり落ちていませんでした。ぼくは、もっといっぱい落ちていると思っていました。地下道にはいると、鳥のふんがいっぱいありました。鳥の羽やティッシュ、たばこなどが落ちていました。ぼくは、何でごみをちゃんと捨てないのかなあと思いました。

　地下道を出て、歩いていると、ここもさっきと同じで、ごみがあんまり落ちていませんでした。そして、商店街を歩いていると、地下道と同じぐらいごみが落ちていました。もうちょっと歩くと、おばあさんとおじいさんがいて、ぼくたちにあいさつをしてくれて気持ちが良かったです。そのあともいろんな人があいさつをしてくれました。

　ぼくは、やっぱりあいさつは人が明るくなれる言葉なんだなあと思いました。それで商店街を出て、並んで歩いていたら、五年生の〇〇君が「ごみいっぱいとった。」とぼくに言ったので見てみると、すごくいっぱいとっていました。そして、学校に帰るとちゅう、あいさつをしてくれた人たちを思い出しながら帰りました。

　たくさんのごみを拾いました。紙くず、ビン、ガラス、たばこの吸いがらなどがありました。

　そこで、僕の思ったことは、「ごみがあったら、いやな気持ちになるなあ。」です。「ごみがある。」と言っていますが、ごみは、自然に出てくる物ではありません。ごみは、必ず、だれかが捨てています。僕は、ごみがあると、迷惑だと思います。つまり、ごみを捨てるということは、人に迷惑をかけることと同じまではいかなくても、人に迷惑をかけることに近いことだと思います。校長先生も、朝会で、

「人に迷惑をかけない。これだけはきちっと
　守って下さい。」

と、みんなに伝えていました。捨てている人は、たぶん、こう思っていると思います。

（自分は、ごみがあったらいらんから捨てた。
　人に迷惑がかかっても、捨てたの自分って
　分かれへんからどうでもいい。）

こんな自分勝手な理由で捨てるのは、絶対おかしいと思います。人に迷惑がかかるだけではなく、動物が死んだりすることもあります。前に奈良公園のシカの勉強をしました。その話は、本当にあった話で、シカがえさとまちがえて、ナイロンの袋を食べてしまったということもありました。

　だから、僕は、ごみを捨てないようにしようと思います。今でも捨てないし、これからもです。